

令和5年度 第2回 引佐北部小中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年7月31日（木） 8時45分から11時50分まで
- 2 開催場所 引佐北部小中学校 校長室、職員室、7・8・9年教室
- 3 出席委員 鈴木 知成、山本 培代、廣瀬 稔也、池田 信子、五十川 亜純、松田 好道、  
萬立 芳朗
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 小川 誠司（校長）、山下 剛功（教頭）、田力 里枝（CSディレクター）  
教員18人
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 田力 里枝
- 8 前回会議録確認 司会から、第1回の会議録について要旨の説明があった。
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、廣瀬委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

- 10 日程等説明 教頭から本日の日程等の説明があった。
- 11 自己紹介 職員室にて、各委員が教職員に対して自己紹介をした。
- 12 協議事項

- (1) 学校評価について 教務主任
- (2) ふるさと科について 教頭
- (3) 学校教職員との協議を終えて

13 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校評価について

議長の指示により、教務主任から、別紙資料に基づき、学校評価アンケート結果について説明があり、その後、グループ協議を行い、各グループからは以下の報告があった。

初等部①（渡辺教諭）

- ・初等部児童の自己肯定感が高い。
- ・授業、行事等、目標を明確化していく。

初等部②（濱田教諭）

- ・国際コミュニケーション科では、子供の視点が世界に向くような働き掛けをしたい。
- ・何のために挨拶が必要なのか、子供自身が考える機会をつくる必要がある。

中等部①（本田教諭）

- ・身の回りをきれいにする意識を高められるよう、中等部から発信したい。
- ・ふるさと科の学習を通して他校と交流、発信する機会を設けたい。

中等部②（神田教諭）

- ・学年（年齢）に応じた評価基準を提示し、共通理解を図りたい。
- ・引佐北部の3つのほこりについて、どこまで求めるのか、共通理解を図りたい。

高等部①（遠藤教諭）

- ・ふるさと科、国際コミュニケーション科の学習内容について、教職員の共通理解を図りたい。

い。

#### 高等部②（市川教諭）

- ・いじめ防止について、一人一人に丁寧な対応をしたい。
- ・先生が働きたくなる学校にしたい。そのために、学校の魅力を発信したい。

#### (2) ふるさと科について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき、ふるさと科の概要等について説明があり、その後、グループ協議を行い、各グループからは以下の報告があった。

##### 1～4年①（渡辺教諭）

- ・1、2年生は「地域の良さに気が付く」ことを大切にしたい。1、2年生で地域の特徴がつかめるよう、例えば、生き物の生息場所が分かる地域マップをつくる。

##### 1～4年②（濱田教諭）

- ・今後、学区外の子供が増えた場合、この地域のことを知らないが、他地域のことを知っているので、比較することで良さに気が付くチャンスでもある。

##### 5・6年①（本田教諭）

- ・ふるさと科では、地域の課題を知り、どうするかを子供たちに考えてほしい。
- ・小学校で学んだことを中学校に生かしたい。

##### 7～9年①（神田教諭）

- ・中学校は、学年のつながりがある課題解決をさせていきたい。
- ・「自ら」「主体的」など、「自分から行動しよう」とする場面を作りたい。

##### 7～9年②（遠藤教諭）

- ・販売活動の準備や作業の時間から、話し合い中心の時間にしていきたい。
- ・学校運営協議会委員をパイプ役に、地域人材との連携を図りたい。

##### 7～9年③（市川教諭）

- ・商品づくりよりも、年度ごとに課題に対する取組を決める。
- ・9年生が浜松市（行政）への提言ができれば。

#### (3) 学校教職員との協議を終えて

- ・先生方の考え方を聞く機会が持てて有意義だった。（五十川委員）
- ・現場の声がたくさん聞けて良かった。子供の様子もよく分かった。（池田委員）
- ・学校が遠くに思えていたが、生の声を聞いて、地域を大切にしてくれていると分かった。（山本委員）
- ・学校評価を興味深く見た。データから課題が浮かび上がってくる。（萬立委員）
- ・いかに先生方の本音を引き出すかを目的としたが、色々聞くことができて良かった。ここで働きたいと思っている先生が多いことに安心した。「きりやま」の販売は意味あることだが、負担も大きい。（松田委員）
- ・小中のつながりはうまくいっているようだが、難しい面も見て取れる。生徒数の減少により、先生方の負担が増えるのではと心配する。（鈴木委員）
- ・よい機会であったので、もっと時間を多くとれるとよい。国際コミュニケーション科は先生方の中での話し合いが必要に思えた。（廣瀬委員）

#### 14 その他 次回以降の開催日時について委員間で調整を行った。

第3回 10月12日（木）13時30分

第4回 11月14日（火）13時30分

第5回 1月25日（木）13時30分

第6回 2月29日（木）13時30分